



堀口くん 陸上 3000 mで全国 2 位 !!

第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会が10月12～14日に日産スタジアム(神奈川県横浜市)で開かれ、堀口花道くん(甘楽中3年)が出場しました。

堀口くんは男子A(2003年生まれ)3000 mで8分34秒55のタイムで自己ベストを更新し、準優勝という素晴らしい成績を収めました。

自己ベストを出すことが今回の目標だったという堀口くんは「今まで全国大会で勝てなかった相手と最後まで勝負でき、記録を更新できて良かったです。駅伝の県大会では上位を目指し、仲間と関東大会へ行きたいです」と話してくれました。

11月10日に開かれる県中学校駅伝競走大会での活躍が期待される堀口くんは全国都道府県対抗駅伝競走大会出場に向けても意欲を燃やしています。

文部科学大臣表彰を受賞!

ジョイナス ジュニア エフシー
JOINUS Junior FC

スポーツ庁の生涯スポーツ功労者および生涯スポーツ優良団体表彰式が10月5日、中央合同庁舎(東京都千代田区)で開かれました。これは、地域または職場におけるスポーツの健全な普及と発展に貢献し、地域のスポーツ振興に顕著な成果を上げた個人・団体を文部科学大臣が表彰するものです。

町からはJOINUS Jr FC(大河原和男代表)が団体表彰を受賞しました。同クラブは2008年から少年サッカーの活動に取り組み、町内のスポーツ行事にも積極的に参加して、地域のスポーツ振興に貢献しています。



JOINUS Jr FCのメンバー

北区少年サッカー交流

友好都市東京都北区との少年サッカー交流が10月7日、甘楽ふれあいの丘陸上競技場で行われました。

甘楽町からは町内の小学生を中心とした少年サッカーチームJOINUS Jr FC(吉田哲也監督・新井琉生キャプテン)と南毛トレセン、南毛選抜、FC碓東ジュニアの4チーム、北区からは北区トレセンA・B・Cの3チームの計7チームが対戦しました。暑い一日に約100人の小学生が熱戦を繰り広げ交流しました。



果敢に戦うJOINUS Jr FC(青色ユニフォーム)

三浦さん 競泳200m背泳ぎで国体7位!



福井県敦賀市で開かれた第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」の競泳競技が9月15～17日に行われ、三浦玲央さん(福島・高崎高校2年)が出場しました。

三浦さんは少年男子A(高校生)200m背泳ぎの予選(2分03秒61)を通過し、決勝(2分04秒25)で7位入賞を果たしました。

中学3年生から国体に出場している三浦さんは中3で100m背泳ぎ8位、高1で同100m3位という立派な成績を収めています。

11月10日にFINAスイミングワールドカップ2018東京大会に50m背泳ぎで出場を予定している三浦さんは「100mと200mでもナショナルタイムを切って、今後もレベルの高いところで泳ぎ続けます」と話してくれました。

国際大会で活躍する同年代と泳ぎ、自信をつける三浦さんのさらなる活躍が期待されます。

ドッジボール北関東大会出場 富岡ウイング

富岡ウイング(小幡ドッジボールクラブ・目黒和広監督)は9月16日に藪塚本町社会体育館(太田市)で開かれた第20回北関東ドッジボール大会群馬県予選会で5位入賞を果たし、北関東大会出場を決めました。

10月20日に桐生大学グリーンアリーナ(みどり市)で開かれた北関東大会では、茨城県2位のチームに勝ち、健闘したものの惜しくも決勝トーナメント進出を逃しました。

キャプテンの茂木煌気くん(福島小6年)は「全チーム強かったのでもっと練習をして強くなりたい」と話してくれました。



仲間(小学生)募集しています。興味のある人は保護者代表の齊藤(☎090・7410・3671)まで。

◆練習日:木曜日(小幡小体育館・午後6時30分～8時30分)、土曜日(東富岡体育館・午後5時～8時45分)



新屋イーグルスが優勝!

第40回甘楽町夏季少年野球大会が9月22日に総合公園Aグラウンドで開かれ、新屋イーグルス(井澤将勝監督・井澤慶心主将)が優勝しました。

試合結果、個人賞は次のとおりです。(敬称略)

◇優勝 新屋イーグルス(左写真)

準優勝 福島ガッツ

第3位 小幡ロイヤル

◆最優秀選手賞 神宮一斗(新屋)

殊勲賞 赤石春人(新屋)

敢闘賞 小井土隼颯(福島)・富岡大駈(小幡)

多彩な芸を披露 芸能発表会



かんら篠笛の会

甘楽町文化協会(中野薫明会長)主催の芸能発表会が10月14日、町文化会館で開かれました。

22団体187人が日ごろの練習の成果を披露しました。舞踊や歌謡、ダンスや楽器演奏などの各団体の発表を約350人の観客が楽しみ、会場からは大きな拍手が送られました。

町文化協会では、加入団体を募集しています。加入希望の団体は、事務局(社会教育課社会教育係☎内線530)へお問合せください。

みんなで作ろう！目によい食べもの

福島小学校(茂木 浩校長)では、食育活動の一環として児童を対象に「目によい食べ物コンテスト」を実施し、おかず部門とおやつ部門に89点の応募がありました。

児童や職員、来校した保護者などにより投票が行われ、作ってみたい、食べてみたいと思うレシピ9点(おかず5点、おやつ4点)が入賞作品として選ばれました。

入賞作品のうちおかず部門の3点は給食用にアレンジされ、10月の学校給食の献立に取り入れられました。レシピは福島小学校のホームページで紹介されているほか、上位入賞作品は11月30日までら・ら・かんらの1階ロビーに掲示されています。ぜひご覧ください。



ら・ら・かんらの「目によい食べものコンテスト」コーナー

今後にいかす貴重な経験 帰国報告会

第17次チエルタルド市訪問中学生国際交流研修団(松井勉団長・団員16人・随員2人)の帰国報告会が10月12日、甘楽中学校体育館で開かれました。

研修中の様子を報告



研修団は甘楽中生徒と関係者の前で、8月14日から24日までの11日間の研修を通じて学んだことや、異文化に触れた体験などを報告しました。

団員の松本暖史くん(甘楽中3年)は「文化の違いやコミュニケーションの大切さなどたくさんのことを学べた。この経験を今後の生活にいかしていきたいです」と話しました。



イタリアでの貴重な経験を自分の言葉で発表する団員

甘楽ふるさと農園では10月21日、第19回収穫感謝祭が開かれました。同農園管理組合(吉田恭一組合長)主催の農園づくりコンテスト表彰式や圃場見学、バーベキュー大会などで参加者151人が交流を深めました。

表彰式では栽培管理状況の良さや工夫をこらした農園を作る28人が各賞を受賞しました。

主な受賞者

- 最優秀賞 堀越泰久さん(高崎市)
- 町長賞 加来昭明さん(東京都北区)
- 農業委員会会長賞 加藤 裕さん(東京都北区)

甘楽ふるさと農園では、初心者も楽しめるように管理人が常駐し、町内外のオーナーが安全でおいしい有機野菜を育てています。利用希望者は農園(☎74-7428)へお問合せください。

農園ホームページQRコード→



豊 かな実りに感謝 ふるさと農園



入賞者の圃場を見学する参加者の皆さん

笑 顔で触れ合う おたっしゃ会

20-1区おたっしゃ会(横山孝一代表)では、10月9日に笹森公会堂で福島幼稚園年長組の園児との交流会を行いました。

これは、昨年から年1回、同会に園児を招いて交流を深めているもので、訪問した園児13人は園歌などを歌い、同会の参加者18人と手遊びをして触れ合いました。最後に組体操「しゃかりき!ソーラン・サンバ」を披露した園児たちには大きな拍手が送られました。

横山代表は「ほのぼのとした雰囲気でお互い本当に楽しそうでした。世代間の交流ができるとても良い企画で、来年も楽しみにしています」と話されました。

手と手を取り合って交流するおたっしゃ会
参加者の皆さんと福島幼稚園年長組園児



収 穫の秋 甘楽 ni ひとめぼれ

甘楽の地酒プロジェクト委員会(西岡義彦代表)は、10月8日に甘楽北部の圃場で稲刈りを行いました。

甘楽の人が育てるお米で地元の酒蔵が地の水を使用し、オール甘楽の地酒「甘楽 ni ひとめぼれ」を作る同プロジェクトは、今年で4年目となりました。

6月に丹精込めて植えた稲はすくすくと育ち、立派な稲穂をつけ、収穫の時期を迎えました。参加者は、稲を鎌で刈り取り、束ねる作業を半日楽しみました。11月上旬に仕込みを行い、12月には待望の『甘楽 ni ひとめぼれ』特別純米酒「かすみ」が完成します。





伝統の獅子舞を鑑賞する参加者

雨にも負けず 花祭り

蕎麦づくり入門講座の「花祭り」が9月30日、旧秋畑小学校那須分校で開かれました。

台風接近による雨天のため、場所を蕎麦畑から同校に変更し、参加者約80人は用意された豚汁や赤飯を味わいました。また、地元那須地区出身の中野新太郎さんのミニコンサートが行われ、県指定重要無形民俗文化財の「那須の獅子舞」も披露されました。

同講座では、11月11日に収穫、12月8・9日には蕎麦打ちを行い、究極の蕎麦づくりを存分に楽しみます。

御殿で楽しむ 中秋の名月

名勝「楽山園」では中秋の名月の9月24日、「第7回御殿のお月見会」が開かれました。カップろうそくが並びライトアップされた幻想的な庭園に約800人の来園者が訪れ、雲の合間に見える美しい月を満喫しました。

来園者は楽山園友の会の皆さんによる紙芝居や宵待ち縁日、子どもゲームコーナーなどに参加したり、月や土星、金星などを天体望遠鏡でのぞく天体観測も体験し、御殿のお月見会を楽しみました。

凌雲亭ではかんら篠笛の会、羽衣会の皆さんによる演奏や仕舞が、梅の茶屋では箏の葉会の皆さんによる箏曲の演奏が行われ、夜の大名庭園に優美な時間が流れました。



中秋の名月を待つ大勢の来場者

地域で幸せに暮らし続けるために



認知症の人の対応方法などについて講師からアドバイスを受ける参加者

社会福祉法人かんら会(森平恵喜理事長)は町と共催で10月5日、町文化会館で平成30年度地域貢献事業の講演会を開きました。地域住民や介護関係者、町職員など310人が参加し、群馬医療福祉大学の山口智晴教授の講演「認知症になっても幸せに暮らすためのコツ」に耳を傾けました。

山口さんは認知症の人の生活支援の必要性や認知症初期集中支援チームの取り組みについて説明し、「認知症の人とのかかわりは、笑顔で相手の気持ちを理解することが重要。原因となる病気によって症状はさまざまであり、早めに専門職に頼ることも大事です」と呼び掛けました。

森平理事長は「認知症を理解し、支えていくための地域全体のフォローが大事。地域でさらなる連携をしていきたい」と話されました。

19区グラウンドゴルフ愛好会



- ◆代表者
山崎泰弘(小川)
- ◆会員数
10人
- ◆設立年
平成30年



活動内容

毎週月・水・金曜日の午前8時30分から
11時30分まで、甘楽ふれあいの丘陸上競技
場(白倉)でグラウンドゴルフの練習に励
んでいます。

クラブの特徴

「元気で楽しく、愉快地に楽しみ！」が合言
葉で、猛暑や寒波の中でも負けずに体力づ
くり邁進しています。会員最高齢の91歳
の人も元気にプレーしています。



年間を通していきいき体力づくり



ホールインワンを目指して楽しくプレー

今後の予定・目標など

年齢とともに体力は低下しますが、高齢
者でも楽しめる生涯スポーツとして、グラ
ウンドゴルフに取り組み、会員の健康がい
つまでも続くような愛好会を目標にしま
す。

住民の皆さんに一言

会員を募集しています。19区民で興味
のある人は、山崎会長(☎74-6160)へ連絡ま
たは練習日に陸上競技場へ直接お越し
ください。お待ちしております。